

Society5.0社会をリードし、AI・ビッグデータ・IoT・ICTが使える人材
社会人が、学生や教員と共に学びあう

情報技術教育

令和7年度 社会人受講生 実施要項



- AIとビッグデータ（全6科目）
※但し、春期は「AI基礎」未開講
 - IoTとロボティクス（全6科目）
 - ICTと情報セキュリティ（全2科目）
- 令和7年8～9月（夏期集中講義）
・令和8年2～3月（春期集中講義）

Society 5.0時代において、AIやIoTをはじめとする情報技術は、製造業や金融業、サービス業や農業等のあらゆる産業で業務革新をもたらしています。こうした変化に対応するためには、AIやIoTといった先進情報技術の知識を身につけることが不可欠です。

金沢工業大学では、社会人が学生や教員と共に学び合いながら、AI・IoT・ICTの基礎から応用まで体系的に学習できる教育プログラムを提供します。

※以前のご案内から、開講スケジュールが一部変更になっています。ご注意ください。

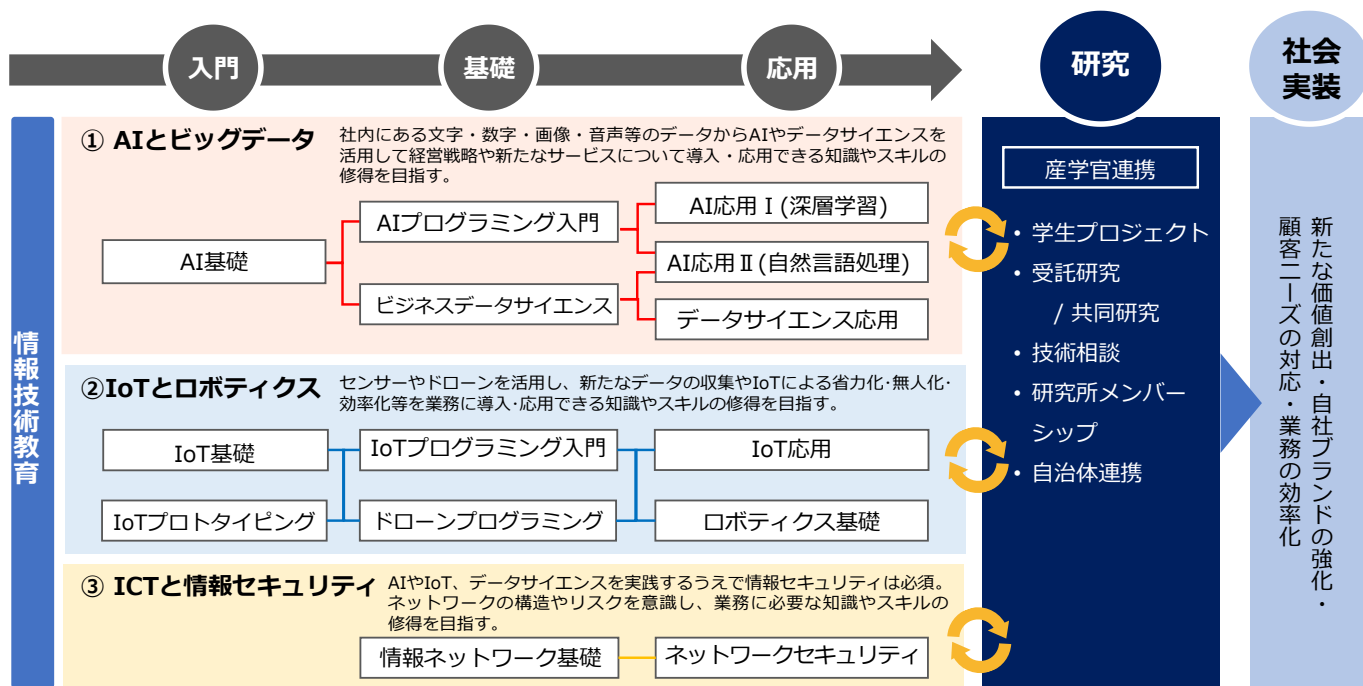




情報技術教育

金沢工業大学の情報技術教育は、製造業・サービス業・金融業・農業等の全ての業界において、AI・IoT・ICTが使いこなせる人材、これらを活用した新しい価値を創出できる人材育成を実践します！

入門から応用、そして社会実装までをサポートする教育体系



学習後の社会実装に向けた教育・研究例

社会人と学生・教員の共創による教育・研究では、AI・IoT・ICTの情報技術や知識を使って、企業の独自性と技術の特長を活かした製品とサービスの創出を産学官連携でおこないます。研究内容は要素技術開発から社会実証まで幅広く対応し、研究所を活用した高度な研究・調査や学生主体の教育研究プロジェクトと連携した新規アイデア創出・実験・実装など多様な取り組みが可能です。

● AI・IoT・ICT・ビッグデータを活用した研究の事例

AIおよびARを活用した設備等保守を支援するAndroidアプリに関する研究開発

株式会社別川製作所と産学連携で、「AIおよびARを活用した設備等保守を支援するためのAndroidアプリ」の開発を進めています。工場・施設等の設備等保守点検においては、明らかな異常を検知できても、正常から異常への過渡期の判断が難しい場合が多く存在します。

そこで、設備等の稼働状態をAIにより分析し、AR等を駆使して最適な設備保守点検が行えるよう支援するAndroidアプリを開発し、工場等の実際の現場での実証実験を踏まえながら、実用化を目指しています。



5Gスマート工場にて、遠隔MR会議やバーチャル工場見学の機能を搭載し、“人”中心のDXを実現

北菱電機株式会社、株式会社NTTドコモとの産学連携にて、5Gを活用したスマート工場「Smart Smile Factory」の取り組みを進めています。生産機械効率化のための「Smart」と、従業員のモチベーション向上等のための「Smile」の各種機能を搭載します。

遠隔の社員同士が顔を見ながら話すことで、社員間のコミュニケーションを活性化させる「遠隔MR会議」、発注元企業の自社オフィス等からSSF内を視察できるようにするための「バーチャル工場見学」の実装を行いました。今後も引き続き、“人”中心のDX実現を目指します。



● 学生・教員との共創による教育研究活動

金沢工業大学の学生・教員は、世代・分野・文化が異なる人たちと共に学び、共に研究に取り組むことで、イノベーション創出とその実践的な研究力を身につけています。社会や企業の課題に挑戦し、地域の課題解決を目指した特色ある授業や課外プログラムを取り入れ、企業や自治体、社会人等と共に専門知識を活用して課題解決に取り組みます。社会実装に向けたアイデアの創出を産学官連携で行います。

【例】プロジェクトデザインⅡ（2単位）、オナズプログラム（夢考房プロジェクト、学科プロジェクト）



1. 科目概要



- ・科目を受講するうえで必要なスキル等は、下記の表をご参照ください。全科目に共通して、「Word、Excel、PowerPointで課題を作成できる」「作成した課題の電子ファイルをメールに添付して提出できる」必要があります。
- ・対面授業の場合は【大学からパソコンを貸与】いたします。遠隔授業の場合はご自身のパソコンを使用していただくことになります。対面授業の科目の中で、「AIプログラミング入門」・「AI応用Ⅱ」・「データサイエンス応用」は私有パソコンを使用できます。（但し、ソフト追加可能なパソコンであること、大学内での使用に事前申請が必要となります。）
- ・教科書は「使用するソフトウェア・教科書等」欄に記載のある科目は、あらかじめ各自でご購入ください。

コース	SEQ	レベル	科目名	授業形態	学習内容	受講に必要なスキル
						使用するソフトウェア・教科書等
Ⅰ. AIとビッグデータ	1	入門	AI基礎	対面	AIの基本的機能や機械学習（深層学習）の働きの初等的理論やデータ操作の倫理、工学への応用例を学ぶ。	指示されたソフトウェアをインストールできること。 電子メールで教員に質問することができること。 【大学からパソコン貸与】
	2	基礎	AIプログラミング入門	対面	Pythonによる基本的なプログラムを作成する。変数、関数、制御文、繰り返し文、リスト、コンテナの処理、イテレータ、モジュールの利用などについて学ぶ。	キーボード、マウス、ウインドウ操作が十分できること。 【大学からパソコン貸与】 または *ソフト追加可能な私有パソコンの持参を推奨。
	3	応用	AI応用Ⅰ（深層学習）	遠隔	深層学習の基礎、畳み込みニューラルネットワーク、リカレントニューラルネットワークの仕組みと活用法について学び、それらの手法やモデルに基づく応用システムを構築する。	AIの基礎知識を有し、プログラミング経験者であることが望ましい。 Pythonについては、関連書籍/情報/プログラムを参照しつつ、プログラムの処理概要を理解、説明できればよい。 ・Google Chrome(+ Google アカウン) ・教科書「Pythonによるディープラーニング」[マイナビ出版]
	4	応用	AI応用Ⅱ（自然言語処理）	対面	人間とのコミュニケーションを担うAIの中心的存在である自然言語処理の基礎的な技術を学習する。対話システムを活用したプロトタイプサービスの構築を通じて、その発展性や危険性を議論できる素地を身につける。	(1) AIに興味を持ち、その可能性や危険性を Open に議論する態度があること。 (2) Pythonを使ったプログラムを作成および実行できることが望ましい。 【大学からパソコン貸与】 または *ソフト追加可能な私有パソコンを持参可。
	5	基礎	ビジネスデータサイエンス	対面 or 遠隔	データを活用するための手法としてのデータ分析を学習する。推測統計の点推定と区間推定および仮説検定の概要や帰帰分析をはじめとする統計学の基礎、およびビジネスに有用な機械学習の手法などの理論と実践を学ぶ。	Microsoft Excelを使うことができる程度のパソコンスキルがあること。 ◆全日程「対面」受講の場合【大学からパソコン貸与】 ◆「遠隔」受講の場合 受講前に、各自のパソコンに以下のツール等をインストール/ログインの新規登録しておくこと。（第1回目の講義冒頭にも説明します。） ・Microsoft Excel ・KNIME ・KHCoder ・jSTAT MAP（ウェブGIS）
	6	応用	データサイエンス応用	対面	機械学習のさまざまなアルゴリズムを用いたデータ分析手法を学習する。教師あり学習および教師なし学習およびscikit-learnを用いたデータ解析について学ぶ。	Pythonを使う課題があるため、Pythonの基礎（リストの操作、制御構文、関数の定義等）と初歩的なオブジェクト指向（オブジェクトを作成して、そのメソッドを呼び出す等）を理解していること。 ・VirtualBoxを用いた仮想環境 *参考:セットアップ方法は講義中に説明します。 【大学からパソコン貸与】 または *ソフト追加可能な私有パソコンの持参を推奨。
Ⅱ. IoTとロボティクス	7	入門	IoT基礎	対面	IoTシステムを構成する基本技術や通信方式、情報セキュリティ対策技術について体系的に学習する。	基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、タイピングなど）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	8	入門	IoTプロトタイピング	対面	IoTシステムを構築するためのマイコンを用いたプロトタイピング手法を学ぶ。プロトタイピングの考え方やネットワークやマイコンを用いたセンサ・アクチュエータの利用方法を学習する。	基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、タイピングなど）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	9	基礎	IoTプログラミング入門	対面	C言語とマイコンの基本的な機能を学習。I/Oポート、A/D変換、PWM、割込み（タイマ）、UART通信を利用したArduinoマイコンのプログラムを学習する。	基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Officeの操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 【大学からパソコン貸与】
	10	基礎	ドローンプログラミング	対面	Pythonを使用して、小型ドローン(Ryze Tech-Tello)をプログラミング制御する方法を学ぶ。TelloとUDP通信して機体制御および機体情報を取得するマルチプロセスプログラムを作成し、ドローン制御の理解を深める。	(1) Pythonの基礎(①変数とリスト、②条件分岐、③繰り返し、④関数定義と呼び出し、⑤モジュールの使用)を理解していること。 (2) Visual Studio Codeなどのプログラミング用テキストエディタの使用経験があること。 (3) Linuxデスクトップ環境の使用経験を有することが望ましい。 【大学からパソコン貸与】
	11	応用	ロボティクス基礎	対面	基本的なロボットの制御手法について実践的に学ぶ。ロボット制御プログラミングの様々なセンサの値からロボットを操作する方法や、PID制御などの制御理論を学ぶ。	(1) 基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Office の操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 (2) Cプログラミングの基本的な要素（条件分岐、繰り返し、関数、ファイル入出力など）を理解している。「IoTプログラミング入門」を履修しているか、履修相当であること。 【大学からパソコン貸与】
	12	応用	IoT応用	対面	ハードウェアとセンサーを使った基礎的なIoTシステム構築の手法を実践的に学ぶ。ラズベリーパイと各種センサーを用いてクラウドへ収集・蓄積する手法等を学習する。 C言語またはPython言語でプログラミングを行う。	(1) 基本的なコンピュータリテラシー（Windows/Office の操作、テキストエディタの操作など）を修得していること。 (2) CプログラミングまたはPythonプログラミングの基本的な要素（条件分岐、繰り返し、関数など）を理解している。「IoTプログラミング入門」または「AIプログラミング入門」を履修しているか、履修相当であること。 【大学からパソコン貸与】
Ⅲ. ICTと情報セキュリティ	13	基礎	情報ネットワーク基礎	対面	TCP/IPやそれに関連する知識と技術を学ぶ。ネットワークの各階層の役割と利用されるプロトコルの内容を学び、多様なコマンドを用いてネットワークの状況を把握する手法についても学ぶ。	コンピュータに関する基礎的な知識や能力（2進数の計算、プログラミングなど）を身につけていること。 【大学からパソコン貸与】 ・教科書「マスタリングTCP/IP 入門編 第6版」[オーム社]
	14	応用	ネットワークセキュリティ	対面	ネットワークのセキュリティに関する知識と技術について学ぶ。DoS攻撃やSQLインジェクションのようなネットワークの攻撃手法と対策技術を実践的に学ぶ。	情報ネットワーク基礎を受講済であること。 【大学からパソコン貸与】 ・教科書「マスタリングTCP/IP 情報セキュリティ編 第2版」[オーム社]

2. 開講スケジュール

- 各科目の詳細な授業内容については、ウェブサイトにある学習支援計画書（シラバス）をご参照ください。
- 1回の授業は100分です。授業時間は以下の通りです。※以前のご案内から、開講スケジュールが一部変更になっています。



1時限 8:40～10:20 2時限 10:35～12:15 3時限 13:15～14:55 4時限 15:10～16:50 5時限 17:05～18:45

- 授業は1回目から受講できるよう業務等のご調整をお願いします。特に1回目は授業運営上、各種設定や重要なお知らせもありますので、出席をお願いします。
- 季節性感染症や大学の都合等により、スケジュール等が変更になる場合があります。

コース	SEQ	レベル	科目名	各期定員	単位	授業回数	令和7年度 春期集中講義（2/18～3/11）		夏期・春期の募集	
				社会人			授業形態	履修区分		
								単一科目	履修証明プログラム	
Ⅰ. AIとビッグデータ	1	入門	AI基礎	—	—	—	—	—	—	—
	2	基礎	AIプログラミング入門	15	1	100分×7回	対面授業	2/25(水) 2・3・4時限 2/26(木) 2・3・4時限 2/27(金) 2時限	可	
	3	応用	AI応用Ⅰ（深層学習）	15	1	100分×7回	遠隔授業	3/ 4 (水) 3・4時限 3/ 5 (木) 3・4時限 3/ 6 (金) 3・4時限 3/ 9 (月) 3時限	可	
	4	応用	AI応用Ⅱ（自然言語処理）	15	1	100分×7回	対面授業	3/ 2 (月) 1・2・3・4時限 3/ 3 (火) 2・3・4時限	可	
	5	基礎	ビジネスデータサイエンス	15	1	100分×7回	対面授業 or 遠隔授業*1	2/19 (木) 1・2・3・4時限 2/20 (金) 1・2・3時限	可	
	6	応用	データサイエンス応用	6	1	100分×7回	対面授業	3/ 9 (月) 1・2・3・4時限※ 3/10(火) 1・2・3・4時限 3/11(水) 1・2・3時限	可	
Ⅱ. IoTとロボティクス	7	入門	IoT基礎 ※同じ内容を2回実施	15	1	100分×7回	対面授業	A日程 2/18(水) 1・2・3・4時限 2/19(木) 1・2・3時限	可	A日程のみ 可*2
								B日程 2/26(木) 1・2・3・4時限 2/27(金) 1・2・3時限		
	8	入門	IoTプロトタイピング ※同じ内容を2回実施	15	1	100分×7回	対面授業	A日程 2/20(金) 1・2・3時限 2/24(火) 1・2時限 2/25(水) 1・2時限	可	
								B日程 3/ 4 (水) 2・3・4時限 3/ 5 (木) 3・4時限 3/ 6 (金) 3・4時限		
	9	基礎	IoTプログラミング入門	15	1	100分×7回	対面授業	2/26(木) 2・3・4時限 2/27(金) 3・4時限 3/ 2 (月) 3・4時限	可	
	10	基礎	ドローンプログラミング	6	1	100分×7回	対面授業	3/ 3 (火) 1・2・3・4時限※ 3/ 4 (水) 1・2・3・4時限※	可	
	11	応用	ロボティクス基礎	6	1	100分×7回	対面授業	3/ 5 (木) 1・2・3・4時限 3/ 6 (金) 2・3・4時限	可	
12	応用	IoT応用	15	1	100分×7回	対面授業	3/ 9 (月) 2・3・4時限 3/10(火) 2・3・4時限 3/11(水) 4時限	可		
Ⅲ. ICTと情報セキュリティ	13	基礎	情報ネットワーク基礎	15	1	100分×7回	対面授業	2/25(水) 3・4時限 2/26(木) 3・4時限 2/27(金) 2・3・4時限	可	—
	14	応用	ネットワークセキュリティ	15	1	100分×7回	対面授業	3/ 3 (火) 3・4時限 3/ 4 (水) 3・4時限 3/ 5 (木) 2・3・4時限	可	

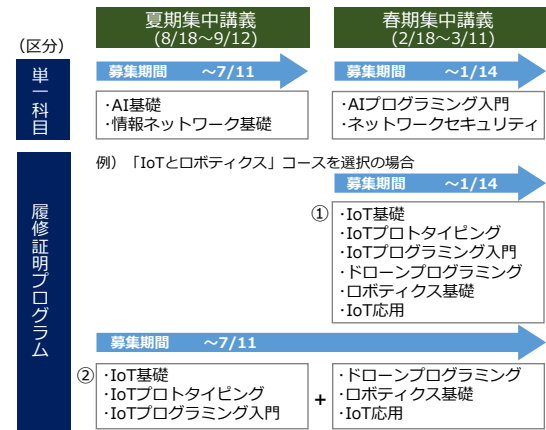
*1. 5「ビジネスデータサイエンス」は対面または遠隔で授業を実施します。後日、メールにて日程毎にご希望の授業形態を確認します。

【例】 2/19(木) 対面、2/20(金) 遠隔

*2. Ⅱ.IoTとロボティクスコースの履修証明プログラムをお申し込みされる場合、7「IoT基礎」ならびに8「IoTプロトタイピング」は【A日程】のみ申請可能です。

3. 科目の選択方法（単一科目区分と履修証明プログラム区分）

履修区分「単一科目」または「履修証明プログラム」のいずれかを選択してから科目を選択してください。



○「単一科目」区分の場合

- ・コース関係なく希望する科目（1人あたり2科目まで）の履修申請が可能です。
- ・1期間ごとに申請を受け付けます。2期間分は受け付けられません。

○「履修証明プログラム」区分の場合（夏期・春期）

- ・「履修証明プログラム」は、コース内の科目を全て(6単位)修得することで履修証明書を発行します。
- ・1つのコース内の6科目の履修計画をまとめて申請してください。
受講期間は①夏期または春期の1期間で学習するか、②同一年度内で夏期・春期あわせて2期間で学習する方法があります。
- ・春期は「Ⅱ．IoTとロボティクス」コースのみ募集します。
- ・1期間に複数のコースは申請できません。また、単一科目区分と履修証明プログラム区分の重複申請もできません。

4. 授業の実施形態について

授業の実施形態は、キャンパスの講義室で受講する「対面授業」とインターネットのオンライン会議ツール「Zoom」を活用した「遠隔授業*」があります。本学学生も社会人と共に授業を聴講します。

- ・科目によって授業形態が異なります。「対面授業」と「遠隔授業」のどちらで開講しているか予めご確認ください。
「遠隔授業」は自宅や会社からの受講となります。履修許可後に、遠隔授業を実施するURLをお知らせいたします。

* 遠隔授業における通信環境設備、通信費用については個人負担となります。

5. 受講前の準備（学内システムの利用環境、教科書）

- ・本学の授業では、学内ネットワークにある授業支援システム「eシラバス」（教材・課題の提供、アンケートの回答など）を利用します。本学のウェブサーバに接続し、IDとパスワードを入力して利用ができます。IDとパスワードは履修許可後に通知します。
- ・所属先やご自宅から本学のウェブサーバに接続する場合は、リモートVPN（FortiClient）をインストールする必要があります。
* 所属先の企業等のネットワーク環境から接続する場合、セキュリティ対応によって本学のシステムに接続できない場合があります。
詳しくは所属先のシステム管理者にお尋ねください。
- ・学内システムもしくはリモートVPN（FortiClient）を使用するパソコンのOSバージョンは「Windows 11」をご利用ください。
- ・教科書は学習支援計画書（シラバス）および「1. 科目概要」に記載してあります。あらかじめ各自でご購入ください。

6. 「遠隔授業」について（「AI応用Ⅰ」、「ビジネスデータサイエンス」）

- ・「AI応用Ⅰ」は遠隔授業で実施します。以下の内容および「7. 遠隔授業の受講前の準備について」をご確認ください。
- ・「ビジネスデータサイエンス」は対面授業と遠隔授業を選択できます。遠隔授業を選択される場合は、以下の内容および「7. 遠隔授業の受講前の準備について」をご確認ください。

受講方法	決められた授業時間に指定されたZoomのURLにアクセスして受講してください。
受講中の質問方法*	<ul style="list-style-type: none">・Zoomで直接マイクを使って話しかける。（聴講者全員と共有）・Zoomのチャット機能を使って、質問を入力する。（聴講者全員と共有）・教員宛に個別にメールをする。

* 詳細については、担当教員より指示があります。

7. 遠隔授業の受講前の準備について（「AI応用Ⅰ」、「ビジネスデータサイエンス」）

以下のものを受講前に各自でご準備ください。

- ・インターネットに接続できるパソコン
 - ・Webカメラ
 - ・マイク
 - ・イヤホン（必要に応じて）
 - ・オンライン会議ツール「Zoom」のインストール
 - ・授業に必要なソフトのインストール
- パソコン、Webカメラ、マイクについて
 - ・授業ではWindows OSのパソコンを使用することを前提としているため、Windows以外のOSでは授業で使用する機器・ソフトウェアに対応できない場合があります。
 - ・Zoomに接続できる状態にしてください。
 - ・受講中は、教員の指示に従い、Webカメラやマイクの操作を行ってください。
 - ・受講中は、イヤホンを使うなど周囲にご配慮ください。
 - オンライン会議ツール「Zoom」のインストールについて
以下のURLよりマニュアルをダウンロードし、インストールしてください。
http://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/pdf/2025zoom_recrrent.pdf
(情報技術教育プログラムサイト内よりダウンロード可)

●授業に必要なソフトウェアのインストールについて

- ・授業に必要なソフトウェアは、「1. 科目概要」に記載してあります。
- ・使用するソフトウェアのインストール方法等詳細は、履修許可後、授業開始前または授業の中で担当教員より指導します。

●令和7年度「情報技術教育プログラム」社会人用実施要項

※実施要項に関する最新情報は、ウェブサイトにてご確認ください。

金沢工業大学 情報技術教育 <https://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/>



プログラム名		情報技術教育プログラム（全13科目/3コース）		
対象期間		春期集中講義		
		令和8年2月18日（水）～3月11日（水）		
募集定員		（A）単一科目 各科目に定める定員（詳細は「2. 開講スケジュール」の通り）		
		（B）履修証明プログラム IoTとロボティクスコース 若干名		
受講資格		企業や自治体・団体等に所属し、出願時に以下のいずれかの資格を有する必要があります。 ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する者を含む） ③ 文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者		
履修制限		・1企業あたり1期間5名まで申請可能です。（※6名以上をご希望される場合はご相談ください） ・科目ごとに必要なスキルが指定されている場合は、その要件を条件とします。「1. 科目概要」をご参照ください。		
申請期間		令和7年12月22日（月）9:00～令和8年1月14日（水）17:00 ※上記期日までにSTEP1～4の手続きを完了してください。		
申請方法	STEP1 提出書類の準備 STEP4 提出書類の提出	（1）最終学歴の卒業証明書 （3か月以内に発行されたもの、 コピー不可）	※教育機関によっては、取り寄せに時間が掛かる場合がありますので、お早めにご手配ください。 郵送で提出（消印有効） 【郵送先】 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 金沢工業大学 大学事務局 共創教育推進室 宛 ※封筒表面に「情報技術教育プログラム提出書類 在中」と朱書きしてください。	
		（2）科目等履修生申請書 （3か月以内に撮影した写真を 添付したもの）	①申請書のフォーマットは、ウェブサイトの「 申込み 」からダウンロードしてください。 ②以下のいずれかの方法で提出 【アップロードの場合】ウェブサイトの「 申込み 」からアップロードしてください。 【メールの場合】申請書をメール添付の上、 kit-ite@mlist.kanazawa-it.ac.jp に送付ください。 【郵送の場合（消印有効）】 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 金沢工業大学 大学事務局 共創教育推進室 宛 ※封筒表面に「情報技術教育プログラム提出書類 在中」と朱書きしてください。	
	STEP2 申込フォームの入力	ウェブサイトの「 申込み 」から申請してください。		
		（A）「単一科目」で申請の場合	「単一科目」区分を選択し、科目名（1人2科目まで）を選択してください。	
		（B）「履修証明プログラム」で申請の場合	「履修証明プログラム」区分およびコース名を選択し、コース内のすべての対象科目の 受講希望期間を選択してください。	
	STEP3 検定料の支払い	10,000円（1名分） ※申込フォームを登録後、自動返信メールが届きます。メール内に記載の指定口座にお振込をお願いします。		
選考		（1）最終学歴の卒業証明書 および（2）科目等履修生申請書をもって書類選考を行います。		
選考結果		令和8年2月9日（月）以降に郵送で通知します。		
受講料		履修許可後、指定期日までに受講料を納入してください。期日・振込先については、選考結果通知時にお知らせします。		
		（A）単一科目	1単位あたり24,000円（教科書は各自負担）	
		（B）履修証明プログラム	1コースあたり144,000円（コース内の指定科目6単位分、教科書は各自負担）	
単位認定/ 修了認定		・単位を修得した場合は、単位修得証明書を発行します。 ・履修証明プログラムは、履修許可された期間内に、コースの指定科目の6単位を修得することが修了要件となります。修了要件を満たした場合は「履修証明書」を発行します。		
注意事項		・各科目において、受講希望者が5名未満の場合は開講しない場合があります。 ・授業は1回目から受講できるよう業務等のご調整をお願いします。特に1回目は授業運営上、各種設定や重要なお知らせもありますので、出席をお願いします。 ・ご質問やご連絡事項等ございましたら、申込フォームの備考欄または以下窓口までご連絡ください。		

受講にあたっての注意事項（お願い）

- ・情報技術教育プログラムは、社会人が学生・教員と共に学びあいます。世代を超えた効果的な授業運営にご協力ください。
- ・1回の授業は100分です。高い目的意識を持って授業にご参画ください。
- ・遅刻、早退はしないでください。また、授業中は携帯電話・スマートフォンの電源はお切りください。
- ・授業に関する録音、撮影は原則禁止です（教員によるオンライン会議ツールの録画は除く）。また、提示資料および配布資料には著作権があります。許可無く対外的に配布しないようお願いします。
- ・授業中にアンケート調査を実施いたしますのでご協力ください。
- ・授業中に広報用および記録用に一部カメラ撮影等が入る場合があります。
- ・通学および事故等の保険加入は任意となります。別途本学で保険加入をする場合の費用は個人負担となります。
- ・季節性感染症や大学の都合等により、授業運営、スケジュール等を変更する場合があります。



金沢工業大学 情報技術教育プログラム窓口（大学事務局 共創教育推進室）
〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
電話 076-294-6743
Mail kit-ite@mlist.kanazawa-it.ac.jp
URL <https://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/>